

ピットフォール事例から学ぶ
感染対策に必要な標準予防策とは

洛和会丸太町病院
感染管理特定認定看護師
小野寺 隆記

標準予防策とは

「標準予防策（Standard Precautions : SP）」とは、血液、汗を除くすべての体液、分泌物、排泄物、傷のある皮膚、粘膜は感染性があるものとして対応することで、患者および医療従事者双方の感染リスクを低減するために実施する。

健康な皮膚は対象にならない
汗以外の体液は全て感染性がある

病院以外も当然必要！

An iceberg floating in the ocean. The small tip above the water represents recognized infections, while the much larger submerged part represents unrecognized infections. A red arrow points from the text box to the tip of the iceberg.

私達が認識して
いる感染症

無症状の感染症

潜伏期間の感染症

未知の感染症

標準予防策の構成要素

- ① 手指衛生
- ② 個人防護具（PPE）
- ③ 呼吸器衛生/咳エチケット → 常時マスク着用
- ④ 患者配置（収容） → ゾーニング
- ⑤ 患者ケアに使用した器材の処理
- ⑥ 環境整備 → 消毒対応・換気対策
- ⑦ リネンの取り扱い
- ⑧ 安全な注射手技
- ⑨ 腰椎穿刺における感染対策手技
- ⑩ 労働者の安全

**コロナ・非コロナに関わらず
全ての利用者に適応する**

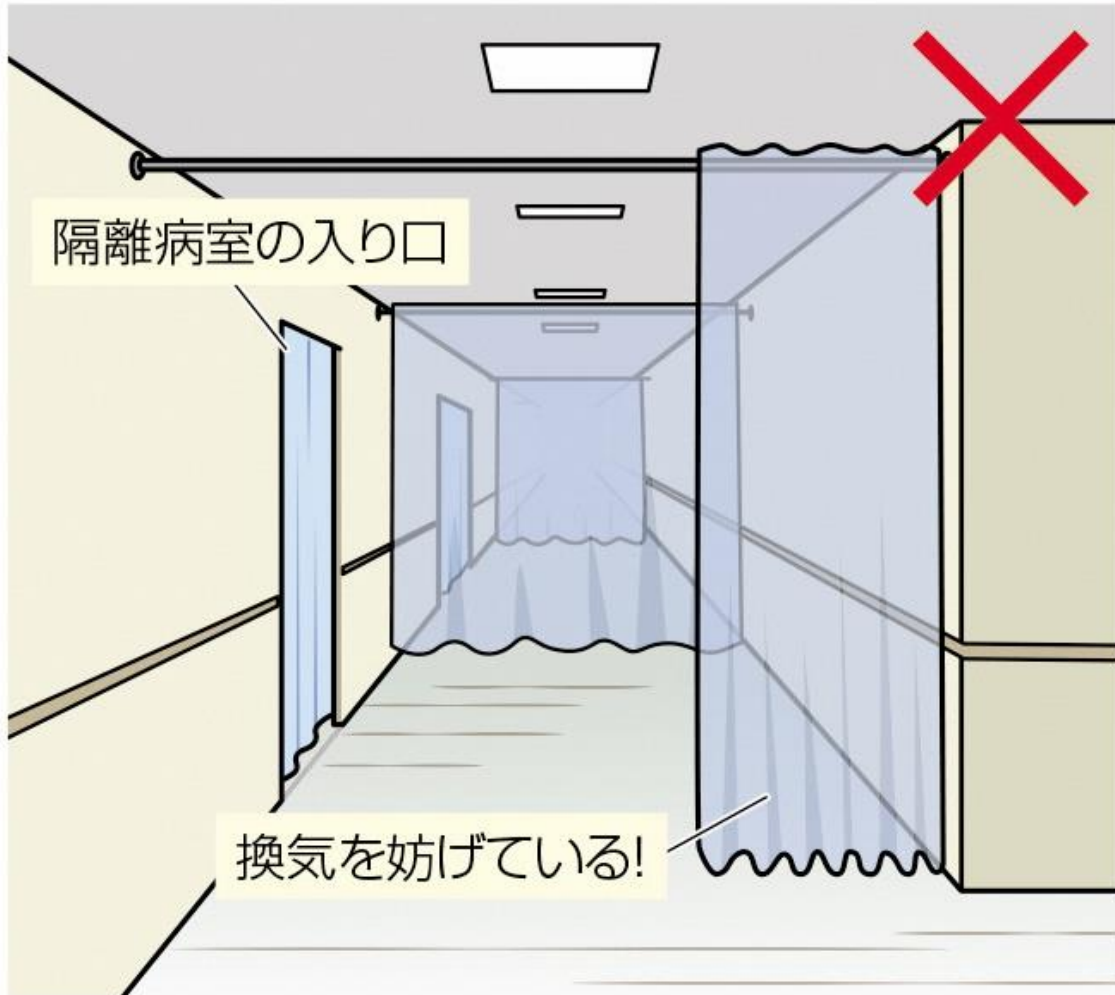
ピットフォール：過剰なPPE



- ・ PPEを着用し続けることで環境汚染のリスクが高まる
- ・ 二重に着用したPPEの外側だけを脱ぐことは困難である
- ・ 体力的にも辛い
- ・ 手袋を装着したままだと手指衛生ができない

PPEを外せる場所を設定する
メリハリをつけてPPEを使用

ピットフォール：換気不十分



- ・ビニールカーテンは良好な換気を妨げてしまう
- ・レッドゾーン前に配置すると、汚染した手や手袋で触ってしまう
- ・消毒も困難である
- ・最優先するべき対策は換気である

**換気が十分にできるよう
環境を整える**

ピットフール：過剰な消毒



- ・ 消毒薬の噴霧は効果が無いだけでなく、吸引することによる害がある
- ・ 不潔、汚れのある物・環境を直接消毒しても消毒効果は減弱する
- ・ 床は感染源にならない
- ・ シューカバーも脱衣時、不潔な足元に手を持っていくことになるため不要である

**靴や衣服を消毒するより
適切な手指衛生を徹底する**

ピットフォール：物品の取り扱い間違い



- ・レッドゾーン内の物品は基本的に外へ出さない
- ・イラストのように首から上に手を持っていくのは感染リスクとなる
- ・物品持ち出し時の消毒の手間を減らすことも大切

**レッドゾーン内は基本的に
専用物品を準備する**

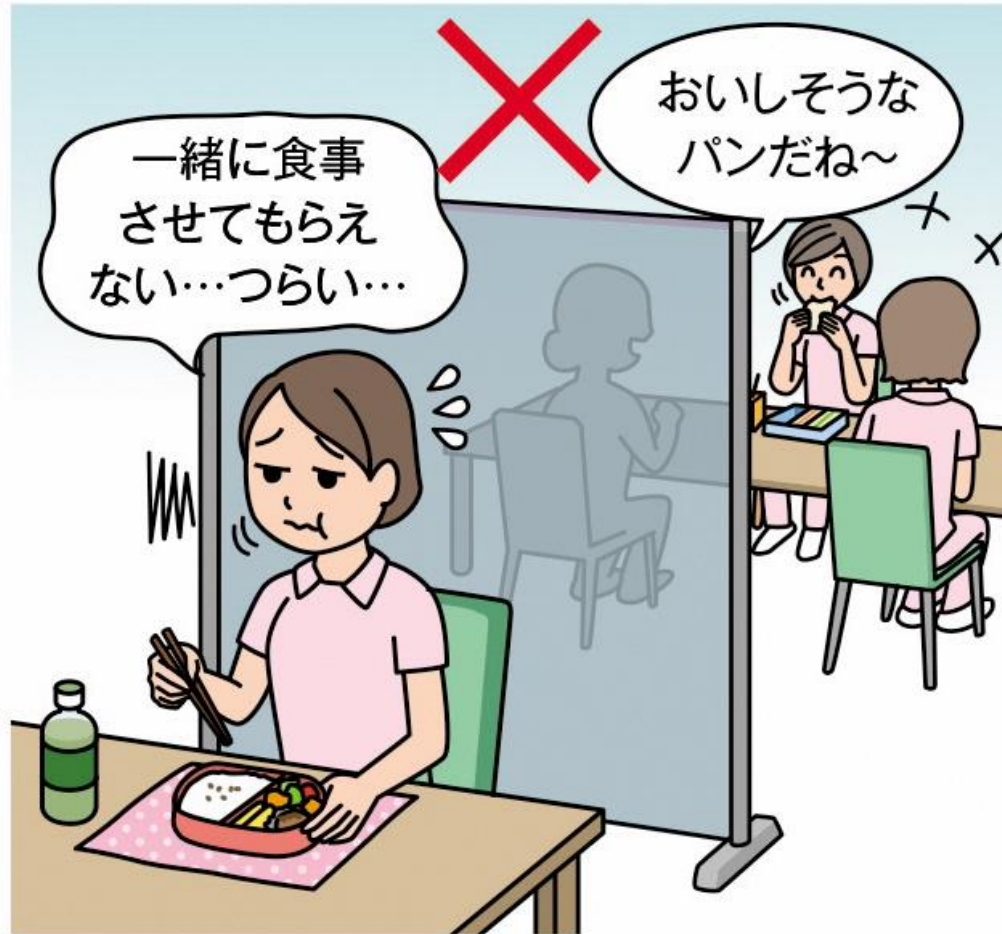
ピットフォール：過剰なゾーニング



- ・ゾーニングはできる限りシンプルに設定する
- ・業務上職員の動線が悪くなることは避ける
- ・他者との接触を避ければ陽性者が廊下を散歩する程度の移動は許容できる

**レッドゾーンはなるべく小さく
適切なゾーニングができないと適
切な手指衛生はできない**

ピットフォール：過剰な対応



- ・感染リスクのある行動に注意
- ・換気の良い空間で静かに食事を摂取することによる感染リスクは低い
- ・更衣室も換気を良くすれば分ける必要は無い

**食事環境を分けることより
密にならず換気のいい空間
の設定が大切である**

ピットフォール：感染経路の考察不足



- ・手に付いたウイルスは手指衛生をすれば感染の原因にならない
- ・濃厚な接触でなければガウンは不要である（配膳、検温など）
- ・職員の負担軽減も大切である

**過剰な対策を実施せず
安全性を重要視する**

ピットフール：職員の体調管理不足



- ・ 検査は精度が100%ではない
(偽陰性/偽陽性)
- ・ 発熱や咳が無いコロナもある
- ・ 職員間の流行がある時は検査を活用する
- ・ 無症状者の持ち込みは避けられないが、広がりを最低限にする行動を意識する

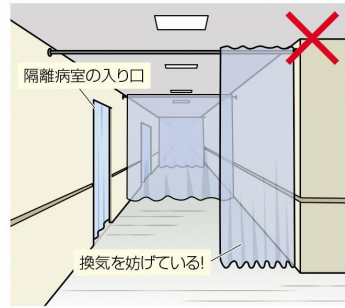
**無症状による持ち込み
リスクを減らす行動をとる**

標準予防策

- ここまで紹介した8つのピットフォール
 - 全ては標準予防策の概念に基づく
 - 全ての利用者に必要な標準予防策は他の感染症対策にも繋がる



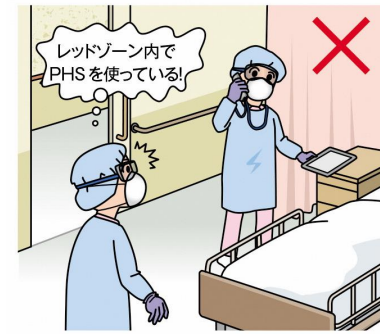
手指衛生
PPE
環境整備



手指衛生
環境整備



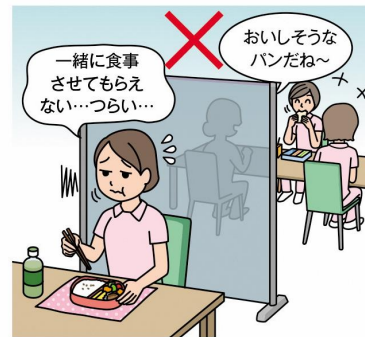
手指衛生
患者配置
環境整備



手指衛生
PPE
患者配置
環境整備



手指衛生
患者配置
環境整備



手指衛生
咳エチケット
環境整備



手指衛生
PPE
患者配置
環境整備



咳エチケット

Take Home Message

- 標準予防策は最も基本的な概念である
 - 基本であるが完璧に実施することは難しい
- 標準予防策ができなければ、感染症の種類に合わせた対策の実施はできない
 - 全ての土台であり、感染経路別予防策の基本となる
- 利用者のケア一つ一つに対して適用する
 - 実際に提供するケアに応じて標準予防策のベストプラクティスを検討する

**感染対策を充実させて
安心・安全な療養環境を提供しましょう**